

ベナン月報(2015年7月)

主な出来事

【内政】

- 独立国家選挙管理委員会(CENA)は15日に地方議会選挙の暫定結果を発表。その後、各地で地方議会が招集され、各地で新たな市長が選出された。コトヌ市議会においては、ニセフォル・ソグロ元大統領かつ前コトヌ市長の息子であるレアディ・ソグロ前コトヌ市第1副市長が新市長に選出された
- 24日、オランダ政府開発援助資金不正使用事件の調査チームが調査結果を発表した。これを受け、関与が疑われる2名の実業家に対し国際逮捕状が発出された。

【外政】

- 1-2日、オランダ仏大統領がベナンを国賓訪問した。
- 21日、赤道ギニアで開催されたエボラ流行国における復興支援をテーマにした AU 首脳会議にヤイ大統領が出席、ベナンは5億 FCFA の支援を約束した。

【経済】

- 14日、英企業 Premier African Mineral 社はベナン政府よりコリーヌ県の 249.75Km² の土地の3年間の鉱物採掘権を取得した。

※下記内容は、La Nation 紙、Le Matinal 紙、L'Événement Précis 紙、La Nouvelle Tribune 紙および L'économiste 紙の記事を元に記載したものです。

【内政】

- ・ 1日、初等教育卒業資格試験の結果が発表され、合格率は全国で89.61%であった。(2日、La Nation 紙、Le Matinal 紙、L'Événement Précis 紙、La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ 3日、ソグロ(M.Nicephore SOGLO)コトヌ市長及びザンス(M.Lionel ZINSOU)首相は世銀の支援でフィファジ地区に建設された橋の開通式に出席した。この新たな橋はコトヌ市の渋滞緩和に大きな効果をもたらす見込みである。(6日、La Nation 紙)
- ・ 3日、アビオラ(M.François Abébayo ABIOLA)高等教育・科学研究担当副首相はアボメイ・カラビ大学において文理学部の教授陣と協議を行い、追試セッションの実施を決定した。(6日、La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ 8日、アボメイ・カラビ市での開催が予定されていた8月1日独立記念日の式典がコトヌ市で開催されることが閣議決定された。(13日、La Nation 紙)
- ・ 9日、6月に実施された中等教育第1サイクル卒業資格試験(BEPC/日本の中学校卒業に相当)の結果が発表された。全国合格率は30.16%で、昨年の47.57%から大きく後退することとなった。(10日、La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ 15日、独立国家選挙管理委員会(CENA)は6月28日に行われた地方議会選挙の暫定結果を発表した。(16日、La Nation 紙、Le Matinal 紙、L'Événement Précis 紙、La Nouvelle Tribune 紙)

- ・ 15－16日, UN(Union fait la Nation)は党会議を開催し, 2016年の党の大統領候補の条件として, 現 UN 党員でなければならない事が決定された。これにより, タロン(M.Patrice TALON)氏が最大野党 UN から立候補することは出来なくなった。(20日, L' Evénement Précis 紙)
- ・ 16日, 6月に実施されたバカロレアの結果が発表された。全国合格率は34. 44%で, 最高得点は平均18. 54点(20点中)を獲得したクツフォ県在住の高校生(D 区分)だった。(20日, La Nation 紙, Le Matinal 紙, L' Evénement Précis 紙, La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ 24日, オランダ政府開発援助資金不正使用事件の調査チームが, 調査結果を発表した。調査報告書の中では, カサ(M.Barthélémy Dahoga KASSA)元エネルギー・石油鉱山探査・水利・再生可能エネルギー開発大臣の関与も指摘されていた。(27日, La Nation 紙, Le Matinal 紙, L' Evénement Précis 紙, La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ 27日, オランダ政府開発援助資金不正使用事件に関し, 閣議でカサ元エネルギー・石油鉱山探査・水利・再生可能エネルギー開発大臣の議員特権停止を求めると及び不正関係者の国際逮捕状を発出することが決定された。(28日, La Nation 紙, Le Matinal 紙, L' Evénement Précis 紙, La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ 27日, 5月28日の地方選挙の結果を受け, 各地で地方議会が招集された。(28日, La Nation 紙)
- ・ 28日, コトヌ市, ポルトノヴォ市, パラク市など, 一部の都市を除き, 地方議会において新たな市長が選出された。(29日, La Nation 紙)
- ・ 28日, オランダ政府開発援助資金不正使用事件に関し, ベナン政府は不正に関わったとされる実業家のコド氏(M.Rémi CODO) 及びニエレ氏(M.Rock NIERE)に対し, 国際逮捕状を発出した。(29日, La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ 29日, カサ元エネルギー・石油鉱山探査・水利・再生可能エネルギー開発大臣の裁判所による拘束を可能にするため, ヤイ大統領は国民議会に対し, 同氏の議員特権の停止を求め書簡を発出した。(30日, Le Matinal 紙)
- ・ 30日, コトヌ市議会において, ニセフォール・ソグロ(M.Nicéphore SOGLO)元大統領かつ前コトヌ市長の息子であるレアディ・ソグロ(M.Léhady SOGLO)前コトヌ市第1副市長が新市長に選出された。(31日, La Nation 紙)

【治安】

- ・ (6月30日)アボメイ・カラビ大学文理学部の追試セッション廃止に反対する学生が抗議デモを起こし, 警察と衝突した。(1日, L' Evénement Précis 紙)
- ・ 1日, コトヌ市郊外のセカンジ市で, セメントを積んだトラックが暴走, 10名が死亡し, 周辺の店や倉庫が破壊された。トラックは過積載だった。(2日, La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ 9日深夜から10日未明にかけて, アタコラ県ダサリ市にあるカサ元エネルギー・石油鉱山探査・水利・再生可能エネルギー開発大臣の生家に武装集団が押し入り, 約1, 000万 FCFA

のに入った金庫などを持ち去った。(13日, La Nouvelle Tribune 紙)

- ・ 13日, コリーヌ県バンテ市でナティティング発コトヌ行 ATT 社のバスが横転, 複数の負傷者が出た。(14日, La Nation 紙)
- ・ 14日より, 警察は再びバイクのヘルメット着用及び乗用車のシートベルト装着の取り締まりを強化した。(23日, Le Matinal 紙)
- ・ 27日から数日に渡り, コトヌ市で警察による窓にスモークフィルムを貼った車の取り締まりが行われた。(29日, La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ 28日, プラトー県ケトゥ市で, 2名の野生動物密売人が逮捕された。犯人は, アンテロープ(レイヨウ)の皮50枚, ジェネット(ジャコウネコ)の皮10枚などを所持していた。(31日, Le Matinal 紙)

【外政】

- ・ (6月30日)第5回カナダ・ベナン間経協政策協議が開催され, ロバーツ(M.Ivan Roberts)駐ブルキナファソ加大使(ベナン兼轄)及びアカディリ(M.Saliou AKADIRI)外相が出席した。(1日, La Nation 紙)
- ・ 1-2日, オランド仏大統領がベナンを国賓訪問した。(3日, La Nation 紙)
- ・ 3日, ピーターズ(Mme.Elizabeth Dipuo PETERS)南ア交通大臣がヤイ大統領を訪問し, グロ・ジベ新国際空港の建設について意見交換を行った。(6日, La Nation 紙)
- ・ 8日, 在ベナン米国大使館は新大使館事務所の竣工式を兼ねたアメリカ独立記念式典を開催した。(9日, La Nation 紙)
- ・ 9日, プルメン(Mme.Lilianne PLOUMEN)オランダ貿易・開発協力大臣がヤイ大統領を訪問し, 5月に発覚したオランダ政府開発援助資金不正使用事件を中心とした今後の2国間関係について協議した。(10日, La Nation 紙)
- ・ 16日, 塚原大使はウォル(M. Theophile C. WOROU)気候変動対策・植林・天然資源保護担当環境大臣を表敬し, 環境を問題及び同分野における日ベナン協力関係に関し意見を交換した。(20日, La Nation 紙)
- ・ 20日, 中国文化センターにおいて, 中国より招聘された専門家の指導による1か月に及ぶ中国伝統舞踊の研修が開始された。(21日, La Nation 紙)
- ・ 21日, 赤道ギニアで開催されたエボラ流行国における復興支援をテーマにした AU 首脳会議にヤイ大統領が出席, ベナンは5億 FCFA の支援を約束した。(22日, La Nation 紙)
- ・ 28日, ザンス(M.Lionel ZINSOU)首相がモロッコを訪問し, ブサイド(M.Mohammed BOUSSAID)財務大臣と今後のベナン・モロッコ経済関係に関する協議を行った。(30日, L' économiste 紙)

【経済】

- ・ 2日, 仏開発庁(AFD)とベナン政府はベナンにおける中等教育・職業訓練分野における286

億 FCFA の支援に合意した。(3日, La Nation 紙)

- ・ 9日, FAO によるウサギ畜産業の支援プロジェクトが開始された。本計画の支援額は2.1億 FCFA に上る。(10日, La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ 14日, FAO による「オブソリート農薬根絶事業」が開始された。(20日, La Nation 紙)
- ・ 14日, 英企業 Premier African Mineral 社はベナン政府よりコリーヌ県の 249.75Km² の土地の3年間の鉱物採掘権を取得した。同地域にはペグマタイト(水晶, トルマリンなどを含む), タンタル, 錫などが埋蔵している可能性がある。同社はベナン政府に対し, 採掘権として初年度約125,000米ドルを支払う見込み。(28日, L' économiste 紙)
- ・ 24日, アボメイ・カラビ・ゾーン病院に, 保健省と仏資本の製薬会社 Sanofi の提携により, ベナン初となる糖尿病と高血圧専門クリニックが開設された。(25日, La Nouvelle Tribune 紙)